名電工高新聞

発行所
名古屋市千種区若水町1の18
名古屋電気工業高等学校
新聞部

印刷所
名古屋市中区南辰己町91
共生印刷株式会社
TEL (050) 2281番

新聞部員
加藤清孝　山藤和雄　近藤秀樹　遠山相栄

校訓を体得せよ!!

校長先生にインタビュー

先生と生徒との和と協調を

○○○○

ふだんあまり校長先生に接しない私達生徒との間には、ほど遠い距離があるように思われます。そこでわれわれ新聞部員は、忙しい時間をさいていただき、校長室でインタビューを行ないましたので、その大要を記しましょう。

（文責記者）

○○○○

●●お生れはいつですか

「昭和二年七月二十三日です。」

●●故郷はどちらですか

「長野県です。」

●●最終出身校はどちらですか

「名古屋大学工学部電気学科です。」

●●本校にとられて何年になりますか

「十二年です。」

●●趣味がありましたら

「山登りが好きです。」

●●どのようなスポーツがお好きですか

「ゴルフ、野球、卓球、庭球などが好きです、旧制高等学校在学中には野球部に入っていました。」

●●スポーツの良さは何でしょうか

「一つのことをみんなでやるチームワークが培かわれる。外で汗をかき、自然に慣れ体を鍛え、根性においても必要。」

●●先生の御家族は何人ですか

「五人家族で子供が三人です。長男が六年生、長女が四年生、二男が幼稚園に通っています。」

●●第二体育館ができて嬉しいですが、その他の教育施設についての計画がありましたら、お聞かせ下さい。

「建物についての計画はありませんが、工業高校としての実験、実習機械などが年々変わっていくが、それに遅れないように新しい機械を取り入れたい。また普通科では工業科とはなれた普通科らしい普通科を希望しています。」

●●本校生徒について、どう思いますか。

「一般的にいって、社会にでている先輩は誠実勤勉で評判がよいようだ、だから諸君も本校の校訓を体得してもらいたい。次に学校で三年間学ぶものは、知徳体といわれるから、勉強にクラブ活動に力を入れて欲しい。自分の能力を知り自信をもって、それを一歩づつ伸ばしてもらいたい。そして計画をたてなさいと言いたい。」

●●昭和四十五年を迎えての抱負を お聞かせ下さい。

「今年は大年である。犬は恩をわすれない。人間は他からなんらかの恩を受けて生きているのだから、感謝と報恩の気持を忘れないようにありたい。また学校では多くの先生と生徒との協調と和を中心として、ますます発展していくことを希望しています。また機会をつくって生徒と親密になり、みんなと話し合い、いろいろな声を聞いてやっていきたい。」

●●先生の描く理想の学校とはどのような学校でしょうか

「現在は高等学校という姿を考え直してもよい時期に来ていると思います。理想の学校といっても個人差があるからむずかしいと思います……」

論説

礼儀正しく

君は礼儀をしっていへんである。紙くずが床にちらばり、ひどいのは、ガムが床いますか、いやしっていても、礼儀正しくしようとしないのだろう。その証拠にずけり身にもなってもらいたいと、小言もいいたくなる。このうち。しかし一人で暮らしているのではない　あくまでも集団生活をしているのだ　これを忘れては解決はできない。

名電工生徒ばかりではないが、日本人は自分の家の庭はきれいに掃除をするけれど、垣根の外はいっこうにかまわない。道路も列車も自分のものではない。そんな気風がいつのまにか心の中に宿っているのではないだろうか。いいかえれば自分本位なのだ。これでは礼儀もなにもあったもんじゃない。

親しき仲にも礼儀ありであることで一番こまるのは自分たちではないか、これほどばかげていることはないだろう。

学外においても礼儀正しく心がけたいものである。さすがは伝統ある名電工生であるとの評価されたい。

きれいな教室で勉強するのを望まないものがありますか。紙くずだらけの教室では、勉強も

君は礼儀をしっていますか、いやしっていても、礼儀正しくしようとしないのだろう。その証拠にずけり身にもなってもらいたいと、小言もいいたくなる。このうち。しかし一人で暮らしているのではない　あくまでも集団生活をしているのだ　これを忘れては解決はできない。

名電工生徒ばかりではないが、日本人は自分の家の庭はきれいに掃除をするけれど、垣根の外はいっこうにかまわない。道路も列車も自分のものではない。そんな気風がいつのまにか心の中に宿っているのではないだろうか。いいかえれば自分本位なのだ。これでは礼儀もなにもあったもんじゃない。

親しき仲にも礼儀ありであることで一番こまるのは自分たちではないか、これほどばかげていることはないだろう。

学外においても礼儀正しく心がけたいものである。さすがは伝統ある名電工生であるとの評価されたい。

朝先生に挨拶をしたことがありますか。おそらく担任や教科担任の先生方には挨拶をしても、他の先生方には挨拶をしないのではありませんか、たった「おはようございます」と、それが恥ずかしかったらおじぎだけでもすれ、朝から気分が爽快になるではありませんか。

また毎週行っている朝の集会のありさまはどうでしょう。全くひどいものがあります。生徒会の代表が号令をかけてから、十分以内に整列したことがあるでしょうか。甚だ遺憾であり恥かしいの二言につきます。体育館に入ったらしゃべらず、各組の室長が中心となって、早く静かに整列させたいものだ……そして集会が終ったら、またたくずだらけの教室では、勉強

後期生徒会役員決まる!!

十一月十一日（火）各クラスの生徒会議員が第二会議室に出席して新執行部役員を選出した。（別記の通り）

新役員はできる限り、生徒会の為努力すると契っている。三日坊主にならないように願いたい。われわれも生徒会がある以上、われわれは協力して育てなければならない。無関心であってはなるまい。執行部役員もただ名をつらねるだけでは、無責任のそしりを受けるだろう。

自覚して生徒会活動を、骨身惜しまずやってもらいたい。

◇後期生徒会新役員紹介

会長　高柳秀浩（E3C）

副会長　松浦広（E3F）
〃　伊藤皇二（E2A）
書記　伊藤光弘（E3B）
〃　足立俊彰（R2A）
会計　平田俊之（E2A）
〃　堀喜六（R2B）
議長　深谷貞夫（R2A）
副議長　小川恭功（R2B）

会長　高柳秀浩君

まず第一に、毎年行なわれる吹奏楽部による定期演奏会、新入生歓迎大会（クラブ紹介）等、それぞれの行事を、今までの経験を生かして立派なものにして行きたいと思います。又、生徒の皆さんが望まれている数々の要望も、生徒会でよく考え、実現に導きたいと思いますが、今期又今後の生徒会の最大の目標は、名電工高の校風と品位の高揚に焦点を置きたいと思います。名電工高生に対する社会人、他校生徒の考えは、どの様な生徒と評価されていると思いますか。（だんだん良くなって来ているという方も多くなってきますが、なかに人に迷惑をかける生徒もいると思います。）これは、皆さんの服装、言葉使い、公衆道徳が目立つのではないかと思います。こういう生徒は、ほんのわずかではありますが。厳重に注意して行き、本当の意味での良い学校作り高校生らしい品位服装、態度にして行きたいと思います。それもあって、今期は新しく風紀部を作り良い学校にして行きたいと思っておりますので、皆さんも是非協力して頂きたい。

のとれるよう注意しあい、いわゆる悪い生徒をなくして勉強しやすい良い学校にして行きたいと思っておりますので、皆さんも是非協力して頂きたい。

足立俊章　伊藤光弘　深谷貞夫
小川恭功　堀喜六　平田俊之
伊藤皇二　高柳秀浩　松浦広

アメリカへの空の旅

本校教諭　永井徐一郎

今年の夏期休暇を利用して大阪日米文化交流研修会に参加し北米一周飛行機旅行をした。

七月廿七日大阪空港、翌廿八日東京羽田空港を飛びたち、シャトル、デンバー、コロラドスプリングに各一泊、シャトルにてボーイング航空機製作所見学、七四七型五百人乗ジャンボ超大形機製造工場を興味深く見学、デンバーは中部アメリカ大平野の西部の西部開拓当時の拠点都市、コロラドスプリングはロッキー地方へのレジャーセンタで米国空軍士官学校見学。ついでシカゴに飛び一泊市内見学、バッファローにてナイヤガラ爆布をカナダ国側から見物し次はボストン一泊からニューヨークにて三泊市内外見学、フィラデルフィヤ一泊今度はグレーハウンドバスにてウイルミントン一泊「世界化学工業の都」見学翌日バスでバルチモア経由ワシントンに飛び二泊市内見物、翌アトランタへ二泊当市は南北戦争の古跡でサイクロラマにて当時の実況を見る。次にニューオルレアンズ、ヒューストン各一泊、両市共近代石油工業の中心地、又ヒューストンは宇宙船管制センター（NASA）見学又アストロドーム（有蓋野球場）見物。サンアントニオ二泊、米墨戦争の古跡、アラモの砦見学、郊外のロックマウンテン登頂。次にエル・パソにてメキシコ入国、ファーレル市見物、翌フェニックスへ飛び一泊、グランドキャニオン渓谷見物一泊、次いでラスベガス一泊、ロスアンゼルス二泊ロス市は名古屋市と姉妹都市。西部アメリカの中枢都市又ハリウッドとディズニーランド見物、翌サンフランシスコ、ハワイ、ホノイと称し　各種自動車の使用するガソリン代に加算徴収した附加料金で建設したハイウエーが全国に互ってすばらしく、その上を自由にフリーに各種自動車が交通する、殊にロスアンゼルスやサンフランシスコ等西部に於て三重線四車線の立派なフリーウエーが総立体交叉の美しい綾模様に建設され、その上をすばらしい自動車群が、堂々たる姿で流れ走るさまに全く驚きしいばかり。人体の血液循環良好が体力を増進する如く、産業発達国力増進に大いに貢献したものと考えられる。

次に自動車と共に航空機交通の全米にわたっての発達普及も驚嘆すべきものがある。現在アメリカ全国に三十二社の航空会社が存り、皆様大な資本をもって最新鋭のジェット大型旅客機多数と優秀な技術者を擁し、たがいに密接に連携して全国主要都市の交通を全く一社運営と同一に極めて自由便利効果的に運行している。また各地の空港に自家用小飛行機が多数預け駐留してあるのを見たが、之は日本の地方都市で周辺部外居住者が自転車通勤して駅前に預けて電車等にて市街地へ通勤しておるのに相当し、その盛観と差異を深く感銘した。

今度全米各地を飛びまわって来ての感想の一つとしてアメリカ各市の発達と造の著しいことである。日本でも最近漸く取り上げられている建設国土開発、高層ビルの新設問題で、東京霞ヶ関ビル三十六階、つづいて近くその貿易会館が完成とか、アメリカ各都市ではシカゴ方式の鉄骨コアーと新建材のカーテンウオール式に外装形式を新規設計にてすばらしい超高層ビルで都市建設改造が行なわれ又行なわれつつあるのを感銘深く見て来た。これは近年世界的に第三次産業の発展が大都市に益々人口を集中させる大勢であるため都市に超高層ビルの建設が最良の対策として取り上げられて来たためであって、我が日本でも特に人口密度の高い大都市ではこの高層ビルの建設が実施されると思う。

最後に帰切に感じた事として米国の人種問題がある。近年黒人問題が最もむつかしく重大事件を引きおこしている。シカゴ、ニューヨーク、ワシントンと北米の主要都市を南に下り至る所黒人の多い事にびっくりした。ワシントン市の如き総人口八十七万人中五十五万人が黒人とか、シカゴ市でもニューヨークでも街行く群集の過半数は黒人かと思われ、あらゆる階層に入って勤労を分担し、この意味においては非常に好ましいことであるが、一方その白人との間に本質的に完全融和が出来ないまま、益々黒人の増加進出する事に米国の癌と云われる所以があると考えさせられた。南部諸州に行く程に、この黒白闘争が大つぴらにはげしく、学校は云わずもがな待合室、便所迄差別があるを見て一寸立ちすくむ思いをした。またこの外に最近だんだん問題になって来たカリホルニヤ州をはじめアリゾナ、ニューメキシコ、テキサス等南西諸州に定住するメキシコ系アメリカ人約二千万人の問題で、これが給与賃金がアメリカ人労務者の約五分の一以下で、北部の黒人と同様に米国としてまことに困った人種問題となって来ておる。

都会の層と云えばニューヨーク市の二番街かその十五丁目から二十丁目あたりの大通りをバスで遊覧してその両側街路の歩道にアルコール患者モルヒネ中毒者精神病者がおびただしく倒れ或は公園石段にうずくまり或はわめき狂い騒ぎ、之に加えて街路上の紙屑ゴミ類の散乱と不潔なこと等、文化文明をほこるアメリカ大都市の恥部のさらけ出しを見て幻滅の感を深くした。またこれと同様にその名をかねて知っておったヒッピー族男女若者浮浪者、学生なれの果ての群れを街頭に多く見かけ、特にその発祥地の本家争いをしておるとかのサンフランシスコの高級住宅街大通りと、ロスアンゼルス、ハリウッド、サンセット大通り附近にうごめきまよえる男女青少年長髪、はだしの群れをバスの窓より見て、さすが繁栄強大国もその対策無きかと思惜の感にうたれた。これについて考えられる我が国現在の大学学生騒動問題である。これは蓋し近頃の新語"断絶"に起因する。学生と教員、青少年と老壮年との断絶によると考えられるが、アメリカ人と黒人或はメキシコ人との闘争騒動事件はこれは断絶以前の人種の相違、民族のちがいと云う絶対絶命の原因からの為、その円満な解決融和は絶対に不可能事であろうと考えられる。

ワシントン「ホワイトハウス」

アポロ三飛行士の訪日

月着陸の大任を果たしたアポロ十一号の三宇宙飛行士が、十一月四日親善のため来日され、皇居を訪問され両陛下にお会いし、また外人では初めての文化勲章が授与されたということは、われわれの記憶に今なお新たなことであろう。この来訪によって、われわれは一様に着陸当時の緊張と興奮につつまれたことだろう。東京の銀座通りのパレードに見た歓迎風景は、たしかにわれわれの気持を表現していたと思う。

人類史上かつてない月着陸という大成功から、われわれは現代科学の偉大さに対する驚嘆と同時に、他方人類が力を合わせることによって、如何に大きなことを成遂げたかということを、十分認識させられたと思う。武者小路実篤は、人間はできないと思うことも、出来る方法を考え出す名人であるといったが、まことに現実に想像もしなかったことを実現したのである。

テレビばかり見て考えることを忘れているという世評を打ち消し、われわれは読書も運動も大いにやり、毎日の生活を一段と楽しいものにしようではないか。見るもの聞くもの、機会ある毎にとらえ、前向きの姿勢で取り組んで行こう。

第22回渥美半島駅伝大会優勝

去年十二月十四日に行なわれたきろのは、毎年恒例の毎日新聞社主催による本大会に於て、優勝を飾った。在校生諸君応援ありがとう。

駅伝出場者

川井幹夫
大浦義之
平山博
成田雅人
小木曽正勝
鷲野義
一位　名電工
二位　渥美農業高
三位　名商大付高

県高校新人大会

長篇団体がすんで行なわれた県下高校新人大会に於て、各クラブ部員の斗志により左記の好成績をあげた。この成績を通じて、来年度の運動部の活躍が大いに期待で

卓球　優勝
決勝戦　名電工4－1名商大附
バトミントン　優勝
決勝戦　名電工3－0東海
陸上競技　総合三位
一五〇〇米障害　①大浦　四分四〇秒六
円盤　石田　三七米五六
庭球　三位
準決勝　名電工0－2桜ヶ丘
剣道　二位
決勝戦　豊橋商2－1名電工
ウエイトリフティング
バンタム級　三位　林　雲美
フエザー級　一位　佐野孝一
三位　水尻　猛
ライト級　一位　浅野正浩
二位　伊藤邦夫
ミドル級　二位　谷　聡雄
フェンシング　中隊害　一位　森　晴義
一位　大尾　勝
二位　鈴木　満
三位　野田昭男
馬術

◆吹奏楽大活躍

十月二十六日中部日本新聞社主催の中部日本吹奏楽コンクールに於て、吹奏楽部は三回目の三年連続（計九回目）の栄ある優勝を飾った。当日の演奏曲目は次の通り

①交響詩（フィンランディヤ）シベリュース作曲
②ナイルの守り（アルフォード作曲）

◆美術部

四十四年度私学展に左記の者が出品し、何れも好評を博した。

人物　M・I・D　竹村彰
配水塔　E・I・F　白土光行
河原　E・2・H　中松恵
造船所　E・2・I　渡辺敏文
風景　M・3・B　松尾範和
道　E・3・I　谷昭弘

本年度工業課程卒業見込者の進路状況（十月十日現在）

一、求人状況

	求人会社者数	県内	県外	求人数	内定数
昨年度	一二〇六	九一〇	二九六	六〇三八人	二〇四社
本年度	一五三〇	一一〇	四二〇	七六五〇人	二五八社

二、進路状況

	在籍数	進学（各種合）	就職希望数	内定者数	志願中	未定
電気科	四八九	九八	三九一	三六九	一〇	一二
機械科	三一五	五八	二五七	二四五	六	六
電子科	一一四	四四	七〇	五六	四	一〇
計	九一八	二〇〇	七一八	六七〇	二〇	二八

「無知と道徳心」

われわれが学びとろうとするものの中で、おのれ自身の無知を知り、おのれ自身の道徳心をゴミ箱同様に見ている。注意してもきかない。彼らはちういう頭の持ち主だろう。

高校生活を三年間学ぶ意義というものを、ほんとに理解している人が幾人いるだろうか。筆者ですら、理解することはまことに困難である。今仮りにそれを理解した人がいたとしても、意義の目的というものをうまく人に伝えることができるだろうか。いや、できるわけがない、それはただのうぬぼれにすぎないからだ。人は、うぬぼれや虚栄心が強く体内に巣くっているために、なかなかおのれ自身が無知であるということをまったく知らないのだ。

廊下　廊下は人が歩くためにある規定された道の中の一つである。それを守らずに、非常識にも、パンを食べながら歩いているのはましなほうで、廊下全体自覚することが一番大切なものではないだろうか。

なぜ人間の定められた廊下を破りたがるのだろうか。自分が無知であることをまだ知らないから、おもしろ半分に破りたがるのだろう。

こんなことではいけない。

人間は、未来をめざして歩んでゆくものである、それなのに……。はやくおのれ自身の無知をはくろうするような立場から、いますぐに立ちなおり真の知恵、節制、勇気、そして三つが調和した正義を悟ってもらいたいものである。

―声―

心のかび

学園長がかつて心のカビの生えている者は　徹底的な処置をとるといったというが、近頃窓から通行人に残屑を投げたり、煙草をすったり無帽で登校下校したり、頭髪を不正にのばしたり等々、数えれろう。

ば限りない程、心のカビの生えている者が目につく。先生や風紀委員だけにまかしてはおけない。名電工生タルンでるといわれないよう、お互が努力して行こう。立派な名電工の生徒になろう。

コラム

公徳心

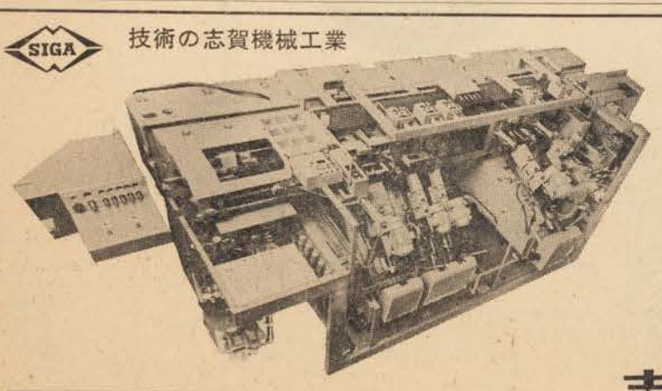
近頃登校して先ず気のつくことは、学校の内外特に階段、廊下、教室等が、どこもきれいに清掃されていることだろう。勉強意欲といっては、少し大げさに聞えるかもしれないが、この意欲もこうしたきれいな環境の中で、育成されて行くものだ。それが始業後一時間たち二時間たつにつれ、紙屑やパン屑、牛乳袋等が、ところどころに散ばされて行く。またこれを見ても拾おうとする者も、最近ドンと見受けない。神経がつかれて朝の勉強意欲も、自然に消えてしまう。この繰り返しを毎日やっているのだ。学校へわれわれは勉強に来ているのだから、勉強のじゃまになるものはとりのぞこう。この際公徳心を大いに養って行こうではないか。公徳心とは何ぞやと問う前に、先ず紙屑等は所定のところに入れ、また見つけたらすぐ拾うという習慣をつけよう。こんなことはその気になれば、誰でも容易にできることだ。われわれの責任に於て、学校をきれいにして行こう。この習慣を学校時代にうけておけば、レジャーブームで野外にでても、あきビン、あきかん、屑紙類にウンザリすることはないだろう。自然は美しくたたえれ、紅葉は一段と美しく眺められるにちがいない。

キハラ製図器
三角スール（竹・セル張り）
曲線定規
T型定規
その他製図用具一式
名古屋電気工業高等学校御指定
株式会社　大附商店
TEL (231) 1744・3354

シキシマパン
高級和洋菓子

合資会社　紅扇

カラー及白黒プリント　品質保証　カメラ・8ミリ格安
（名電工生一割引）　技術の店
二分間写真（受験用・免許用）
若水カメラ
名電工前 (711) 1869

SIGA　技術の志賀機械工業

わが国で数少ない専用工作機械の専門メーカーとして、マスプロ産業から高い信頼度を得る当社は、"個有技術"に裏打された、ガンドリルマシン、ステーションマシン、トランスファーマシンなど各種専用機を製作、わが国トップレベルの豊富な納入実績を誇っております。
自動車工業をはじめ各種産業機械など幅広い産業界の有力ユーザーで、きょうも明日も力強くフル稼動を続けております。
清潔で近代的な設備（内外トップメーカーの新鋭機）を整えて、全工場、"恒温恒湿"を完備した当社では、若い力を充分発揮できます。
毎年卒業者の中で優秀な諸君達を多数求めています。
製造品目　各種トランスファーマシン　ガンドリル専用機　各種専用工作機　BTA方式深穴明専用機　精密スピンドル　油圧送りユニット及油圧機器　各種加工治具　各種精密検査治具
志賀機械工業株式会社
愛知県碧海郡知立町　電話 知立(0566)㉑1441（代表）

第二体育館 見事に完成

前号に掲載の通り、去る六月二十三日から清水建設により、工事にとりかかっていた第二体育館は一月十九日竣工式を挙行し、立派に美しく諸君にお目見えすることになった。今後はこの体育館を大いに利用し、体育の時間にまたクラブ活動に大なる成果をあげよう。

左にこの体育館の規模と内部構成を紹介しておこう。

建物　鉄筋コンクリート四階建
内部　一階　相撲部、重量挙部、教官室、医務室、シャワー室、守衛室
二階　フェンシング部
三階　剣道部、剣道部
四階　バレーボール部

読書について「アンケート」

去る十月十四日から十六日にかけての文化祭の時に、「読書について」のアンケートを行った。

一、雑誌、小説（教科書、新聞、週刊誌はのぞく）を読んでいますか。

読むというものが七十八%、読まないというものが二十二%でした。読まないというものが二十二%とは多すぎるのではないだろうか。これからは、大いに本を読もうではないか。

二、小説は次のどの系統のものを読みますか。

恋愛小説二十五%、推理小説十九%、科学小説十六%、空想小説十五%、人生小説十%、心理小説三%、家庭小説二%、その他十%で、恋愛小説が少し多いといった程度でだいたい平均しているようだ。人さまざまである。

三、あなたの好きな小説作家はありますか。

ある三十%、ない七十%であった。

四、あなたの好きな小説作家はだれですか。

多い順から、夏目漱石、石坂洋次郎、トルストイ、源氏鶏太、芥川龍之助、富島健夫で、あとは、松本清張、山本有三、川端康成などでした。

五、雑誌ではどんなものを読みますか。

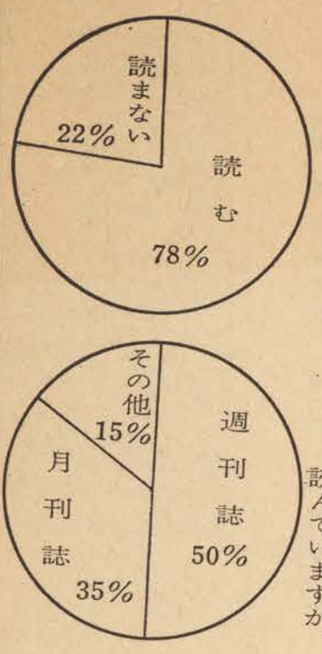
週刊誌五十%、月刊誌三十五%その他（不定期のもの）十五%でした。

六、雑誌は月に何冊位読みますか。

一冊二十七%、二冊二十五%、三冊十七%、四冊十二%、五冊以上十九%で、雑誌については、よく読んでいるようだ。

このアンケートから考えると、三十九%の人が本を読んでいないようだ。

作家の今日出海氏が、どんなに忙わしい時でも、一日に一度は本を開け。活字に親しめといわれたという。至極もっともな言葉ではないだろうか。しかし、生活の中に読書をとり入れることは、毎日日記をつけると同じく、大変な決意を要するものだろう。特に本校のような工業課程の学校に学ぶ諸君には、製図とか実習等の教科のため、本を読む時間が可成制限されよう。このことは、図書館の利用状況からも推察できる。しかし、本は青年のためには食物となり、老人のためには娯楽となると、ローマの哲学者キケロがいったこの言葉もあるのだから、読書をして血とし肉としようではないか。どこの書店に行っても、おびただしい書物が陳列されていることに、驚くことだろう。どんな本が良書なのかと、とまどうこともあろうが、その選択に苦労し手間取るよりも、先ず何でも多読する習慣をつけてはどうだろう。数多く読むうちには、自然と理解力も批判力も養われて行くにちがいない。本を手にすることをすすめたい。



雑誌・小説を読んでいますか。雑誌ではどんなものを読んでいますか。

生徒会中心の学校祭

昭和四十四年度の体育祭と文化祭は、従前とはちがい、先生の手をはなれて生徒会中心で実施した。果たして最初考えていたように、自主運営が企画通り運ばれただろうか。体育祭と文化祭に分けて回顧してみよう。

文化祭

十月十四日から三日間、附属中で本年度の文化祭を採点すると、学と共催で、例年通りはなはなしく開かれた。

各文化クラブ員による作品、生徒有志による作品＝絵画、書道、写真、文芸、創作品等、各運動クラブ員による紹介展等が、中館の全教室と五階の物理室を使って、他に電気と機械展＝番徳館一階で図書部員は図書室で、それぞれ工夫をこらして展示されたので、例年になく すばらしいできだったと思う。

なお番徳館では、左のスケジュールで三日間、記念行事が行なわれた。

十四日　講演
ケニヤへの旅　木村喜七先生
昨夏アフリカのケニアに旅行された旅行談で、スライドや利用された話だったので、印象深く二時間の講演を静かに聞いた。

十五日　映画
○世界は一つ
○くたばれ無責任
ハナ肇等とクレージーキャッツの映画だったので、人気は物凄く好評だった。

十六日　吹奏楽
○吹奏楽部員の演奏
○生徒有志によるギター演奏
何れも日頃練習の成果が発表されたので、終始楽しいふんい気を現出し、拍手が絶えなかった

総評
学校の最大行事である文化祭は、短日時では決して立派な成果は期待できるものではない。そこで、例えば展示物も時間をかけた力作を展示するようにすると、一日だけでなく、三日間ユックリ鑑賞するようになるだろう。また演劇や合唱コンクール、バザー等催してはどうだろう。

とにかく、本年度は体育祭同様、生徒会が主体でやったので、多少の批判はあろうが、時間のわりには活気ある文化祭を開いたと思う。

体育祭

10月14日　会場入口

十月九日、風が強かったがまあ学校との共催で体育祭が開催されまあの天気、例年通り瑞穂サブグラウンドで、愛知工業大学付属中学校との共催で体育祭が開催された。競技内容は百メートル競走からクラス対抗リレーなどの競走種目に、とじょうつかみレース、ゲップレース、パン食いレース、またフォークダンスなどのレクリエーションの種目などが加えられて、なごやかに一日中競技が進められた。今年は生徒の力だけで運営するというので心配もしたが、中々立派にやれたと思う。

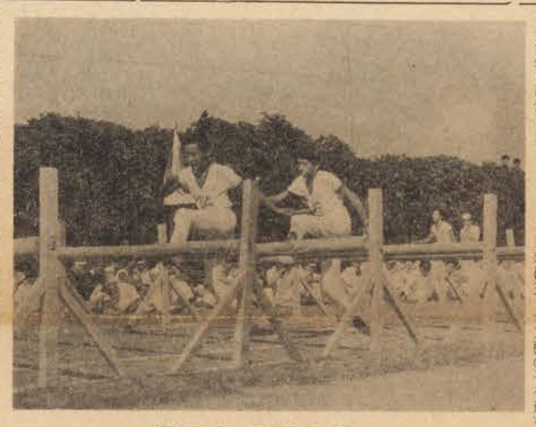
しかし同級生たちが各競技に奮斗しているのに、応援の方はさっぱり振わず、活気ある体育祭のはずが、何かものたりないさびしい気持があった。生徒自身が体育祭に対して興味がないのかもしれないが、競技だけでなく、応援の方にも採点して表彰するなどして、活気のある充実した体育祭にしたいものである。

また各競技に出場する時の集まりが悪くて、係員があわてて集まっていないクラスへいって、××出場者がいなくて棄権する風景も競技に出てくださいと言っても、あったようだが、体育祭は参加することに意義があるのだから、来年度は棄権するようなことはしないで欲しい。

なお閉会式後の掃除のとき、紙屑類のちらかし、運動帽やワイシャツ、パン等の落し物の多いのに氏名をつけておくことを忘れないようにしたい。物を大切に、持ちものを大切にしてほしい。

知識の窓「犬」

今年はイヌの年なので、イヌのことを少し紹介しよう。



熱のこもった障害物リレー

イヌは家畜となった最初の動物だといわれています。イヌほど主人に忠実で、しかられても、反抗しない動物はありません。イヌは今日全世界に分布し、約百六十種が知られているが、それぞれの性質を利用して、番犬、猟犬、護衛犬、警察犬、救助犬、愛玩犬などにされています。

イヌの直接の祖先は不明。イヌの先祖はオオカミに似ているが、別の種類だったらしく、番犬、猟犬、護衛犬として四倍も遠い距離の音をきくことができる。視力は弱く色盲に近いといわれる。方向感覚はかなり正確であるらしい。

野生の犬は、おそらく現在オーストラリアに野生になっているシンゴヤ、南アフリカに半野生になっているパリアイヌなどに近いものであったとしい。日本犬の先祖は、エゾオオカミやニホンオオカミに近い種類のものであったらしく、縄文式文化時代には既に家畜となっていたらしい。

イヌで野生または半野生のものは、群をなして生活している。春と秋に三～十二頭の子を産むが、妊娠期間は約二ケ月、子は約六週間乳をのむが、二才で成熟する。寿命は約十五年。本来は肉食性であるが、飼育により雑食性とかわった。最も鋭い感覚は嗅覚で、食物も性別も親子も、すべてにほいでかぎわける。聴覚は人間と比較して四倍も遠い距離の音をきくことができる。視力は弱く色盲に近いといわれる。方向感覚はかなり正確であるらしい。

警犬団体として、日本にも、日本シェパード犬協会、日本警察犬協会、日本エマデールテリア協会、日本警察犬協会があって、それぞれ純血種の登録をしている。次にイヌに関する史実と伝説については中々面白いものが見られる。アッシリアやバビロニアの古代彫刻や壁画にも、狩猟犬が描かれている。またギリシヤがコルシカ軍の攻撃を受けたとき（BC、六六四）五十頭のマスチフ犬がそれを防いだという記録がある。わが国でも延喜式の記録によると、昔車人が狗人と別称され、のち元旦、団位、外国使節のるが、いまもなおよく読まれている。朝の際、イヌの声をまねたほえる。

史跡めぐり　猫ケ洞池の巻

昔、田代村には十三の池があった。その中でも猫ケ洞池が最も大きく、上池と下池とのだんだん池になって、水を調節していた。そげて飛んでいったという。また年に一回池がほされて、コイやフナを農民はとり、クンにきしてお正月のごちそうにしたといわれる。

大ネコは、戦時中食糧増産のため、水のついていないところや、堤防は開こんされて、さつまいもなどがつくられ、水のたまっているところは水田とされ、中々活躍しているように、その一字をいただいて猫ケ洞池としたと説明している。この池から下のいくつかの池へ水を送る貯水池だったのである。さっこと今から三百年前、二代藩主光友公の命でつくられ、田代前津、古渡、熱田などの水田千五百町歩をうるおしていた。だから、この池の水の利用については、農民は真剣だった。毎年正月に管理者（千種区城山の今は故人の加藤信義さん）の家に代表が集って、日割をきめていた。八つ手の葉のように広がった大ネコは、葉の先端にあたるところに沢があり、いつもキレイな水を一ぱいたたえていた。

明治二十四年の大地震のときに上池の堤が切れ、池から下の田畑は、大きな被害を受けたという。このさわぎから二・三年がかりで修理され、現在のように高い堤ができたのである。

今の平和公園のあたりは、部分林（官有林で下刈だけ村民に許された）だったが、明治三十五年頃に陸軍用地になって、小銃弾の実弾射撃が行なわれ、西側から東側へ小銃弾が、池の上をウナリをあげて飛んでいった。

猫ケ洞池

大ネコも今水のついているところは、昔の四分の一位といわれるが、雨のふったときには水かさが増し、昔をしのばせてくれる。しかし、住宅の建設ブームは、ここにもおしよせ、うっそうとした松林は切り倒されて、昔のよすがは失なんと見当らないが、北側には平和公園をのぞみ、南側にはきれいな町並がつづき、池には水がたまって釣糸をたれる人も多く、近代的な都市民の憩の場になっている。朝夕の堤防の散歩には好適の場で、清冷な空気と共に限りない力を与えてくれる池になっている。

偶感

或る年、新入の一年生の中におしゃべりばかりしていて、一向本を開こうともしない生徒があった。勉強の邪魔になってしかたがないので「君は何のために学校へ入って来たのだ」と聞いたら「お父さんやお母さんが行けといったから来たのだ」と答えた。そこで学校は勉強するためにあるのだが君は勉強する気はないかと尋ねたらはっきり「ない」という。「なぜ勉強しないんだ」と聞いたら「なぜ勉強しなければならぬかわからないからだ」という。僕は感心した。「大抵の人はなぜ勉強するのか考えない人が多い。それなのに君はそれを考えている。えらい奴だ。それでどうだ両親にでも尋ねてみたか」と聞いたら「まだ聞いていない」という。それでは先生や友達に相談してみたか」と尋ねたら「してない」と答えた。それでは本か何か読んでしらべてみたか」と聞いたらそれもやっていないということだった。僕は到々声を荒げて言った。「わからんから人間は考えもし研究もするのだ。なぜ勉強するかという事は考えてみると人間の生きる目的は何だということにつながる。僕はこの年になってもまだ「何のために生きるのか。人生の目的は何だ」という事がよくわからない。誠に恥しいと考えている。僕のような老人ですらわからないのだから君にわからないのは当然だが、僕は君に何のために勉強するのかを教えてやれない。しかしこれは教えて貰ってわかる事ではない。自分で勉強し自分で工夫して悟る事だと思う。これは恐らく死ぬまでわからだった。仏教の深い哲理にも心をひかれるが、恥しい事は時迄わからないというのが本当かも知れない。だが人間はわからないから考えるのだ。本を読み、人の話を聞き、工夫をこらすのだ。わかろうと努める事が出来るのが人間に許された特権なのだ。君のようにわからないからといってほっておくのは犬猫と同然だ。犬や猫を学校に入って展覧会にも出していたが、途中で止めなければならぬ事情になった。だが死ぬまでにはもう少し描きたい。僕は俳句が好きで、その関係で芭蕉の本を少し集めている。この仕事も仲々忙しい。新古今集を集めたり古典の本を集めたいが、資金がないので中止になっている。僕は仏像を見て歩くのが好きだ。腹がたって仕方がない、法隆寺の百済観音の前に半日坐っていて、心が妙に静まった事もある。仏像の写真も集めているがまだまだ伴みたい仏が沢山ある。庭園を見て歩く事も好きで吉寺など五六十の庭は見たと思うが、まだ真のよさがわからない。これからも暇と金のあり次第見て廻りたい。

一番困った趣味は陶器だ。これはわからない。自分にも楽焼を七個程焼いたり、徳川美術館などによく出かけるがどうもわからない。でも死ぬまでには少しでもわかりたい。もう僕も不惑の年を過ぎて幾年も生きないと思う。考えてみると、これは大変なことになった。やりたい仕事が山程あるのに、それには命が足らない。一日が一年が非常に大切になって来た。諸君よ、僕のように老年になってからあわてないように今から自分の好きなものを、いろいろうんだり話を聞いたりして、少しずつ近づく事であり、死ぬ時に悔のない一生を終る事である。勉強はなぜしなければならぬかだろうか。

言一言

本校教諭　福地謙四郎

後年日本教育史の中に自分の求める教育の信念が得たいと思って当時の文理科大学の加藤仁平先生に教を乞った。当時先生は林家の学問に熱中していておられると思う。考えてみると、これは大変なことになった。やりたい仕事が山程あるのに、それには命が足らない。一日が一年が非常に大切になって来た。諸君よ、僕のように老年になってからあわてないように今から自分の好きなものを、いろいろうんで三遍も読みなおした。それからいろいろ尊徳関係の本を読んだり話を聞いたりして、少しずつ近づく事であり、死ぬ時に人間の生き方を知ったのはこれからだった。仏教の深い哲理にも心をひかれるが、恥しい事とはこれでわかって貰えないだろうか。

新刊購入図書案内

福原麟太郎著作集三
〃　〃　七
〔以上　研究社〕
日本の詩歌　三
日本の詩歌　十三
〃　二十八
世界の文学三十九（ミラー　南回帰線）
日本の名著十四（見原益軒）
〃　十五（新井白石）
〃　五十（福沢諭吉）
〔以上　中央公論社〕
大日本百科事典九　〔小学館〕
日本短篇文学全集三十
〔筑摩書房〕
大世界史二十五
〃　二十六
〔以上　文芸春秋〕
現代の科学二十二（自然と解く数学）
現代の科学二十三（マイケルソンと光の速度）
現代の科学二十五（熱機関）
〔以上　河出書房新社〕
工作機械設計集上巻
中巻
下巻
〔以上　東京製図工業社〕
機械設計三（歯車伝動）
〔誠文堂新光社〕
ライフ大自然シリーズ（魚類）
五（軟体類）
六（植物）
〔以上　タイムライフインターナショナル〕
原色万葉植物図鑑
ことわざ辞典
源氏物語（明解と鑑賞）
近代短歌人と作品四（若山牧水）
俳句シリーズ人と作品一（松尾芭蕉）
啄木短歌の研究
若山牧水の研究
万葉の歌人
近代の文学七（志賀直哉の文学）
近代の文学八（岩崎潤一郎の文学）
近代の文学別巻（詩の形象）
〔以上　桜楓社〕
広辞苑第二版
〔岩波書店〕
世界SF全集二十二（エフレーモフ）
世界SF全集三十二（短篇集）
〔以上　早川書房〕
川端康成全集（雪国）
（伊豆の踊子）
（みずうみ）
〔以上　新潮社〕
奥の細道
〔さるびあ出版〕

学校短信

△愛知県私学協会では、昭和四十四年度の表彰式を、十月二十八日市公会堂で行なった。

本校関係は左記の通り

教職員の部
二〇年勤続　高木信一先生
〃　野田喜一先生
一五年勤続　古川氏典先生
〃　野牧　勇先生

優良生徒の部
全日制
定時制　E・三A　安江雅雄
〃　M・四　柘植尚暉

感謝状贈呈　岩附茂男殿

PTA会長
△弟資列次先生入院
社会科担当の弟資先生は、只今名古屋市緑区鳴海町字矢切三七、鳴海病院に入院加療中である。一日も早くご全快を祈る。

△野球部合宿の移転
十月二十六日野球部は豊田市大字八草字来処二二四七の一名電野球部合宿所に移転した。

△共同募金
四十四年度赤い羽根の共同募金は、三万四百七十八円になったので、千種区役所社会福祉事務所にとどけた。

△番徳館の電話
番徳館の電話番号は
七二二の四三七〇となる。

編集後記

本号は殆んど二年生の手になった新聞である。未熟ではあろうが、十分読んで今後に期待をかけてもらいたい。

今回は一面トップに学校長とのインタビューを、二面に新装なった第二体育館という、ニュースをとり上げた。

政治、経済、社会あらゆる分野にわたって一九六九年はあわただしかった。今年は更に多事な年になるだろう。シッカリ腰をおちつけて、学生の本分に徹しよう。

新しい企画を織り込んで、魅力ある学校新聞に育てようと、編集部員ははり切っている。諸君の建設的な原稿をおまちしている。

コカ・コーラとコークは The Coca-Cola Company の登録商標です
スカッと さわやか コカ・コーラ

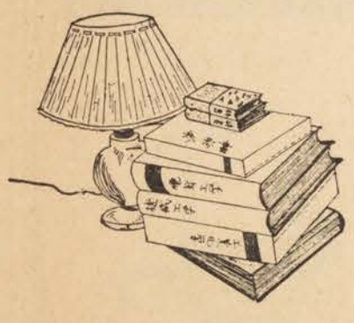
DRINK Coca-Cola Coke

（本社第一工場）

世界137ヵ国で飲まれているコカ・コーラ。当社はあの"さわやかさ"をスピーディにつくり、愛知・岐阜・三重県の皆さまへお届けしております。

中京 コカ・コーラ ボトリング 株式会社　CHUKYO COCA-COLA BOTTLING CO., LTD.（コカ・コーラ指定会社）
（本社）名古屋市東区鍋屋上野町1688

辞書・参考書の専門店



電気学園指定書店
正友館書店
千種区鏡池通2—13　城山中学校南
TEL（751）2717

森永乳業
健康の環を世界に
広げる森永乳業……

春です毎日牛乳を飲んで
立派な身体を作りましょう
森永牛乳
玉木販売店　千種区上野町五の六五
TEL（711）2235